



聖学院小学校

Love God and Serve His People



JR 山手線／地下鉄南北線「駒込駅」徒歩 6 分

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1
Tel : 03-3917-1555 Fax : 03-3917-5560
E-mail : seisyo@prim.seigakuin.ac.jp
HP : <https://primary.seigakuin.ed.jp>

聖学院小学校HP



学校法人聖学院

- ◆ 聖学院幼稚園
- ◆ 聖学院みどり幼稚園
- ◆ 聖学院小学校
- ◆ 聖学院大学
- ◆ 女子聖学院中学校・高等学校
- ◆ 聖学院大学大学院
- ◆ 聖学院中学校・高等学校

School Guide Book



聖学院小学校

Love God and Serve His People





のびやかに、心豊かに、未来を生きる

子どもたちは今日
どんなことに会って心が動かされ
新しく見つけ、驚き、考え、何を学ぶのでしょうか。

見守ってもらえる くつろげる場所で
いっぱい遊んで いろいろなものとなかよしになって
できなかったことができるようになること、
知ること、わかることは、わくわくする喜び。
友だちがいっしょだと もっと楽しくなる。
だから学校に行くと うれしいことがいっぱい。

温かな愛につつまれて感謝を知る毎日のなかで
一人ひとりの個性を大切に、楽しく、のびのびと育ち、
心豊かに成長していくことができる6年間。
たくさんの「学び」と「遊び」と「祈り」に満たされ、
子どもたちは一歩ずつ未来に近づいていきます。

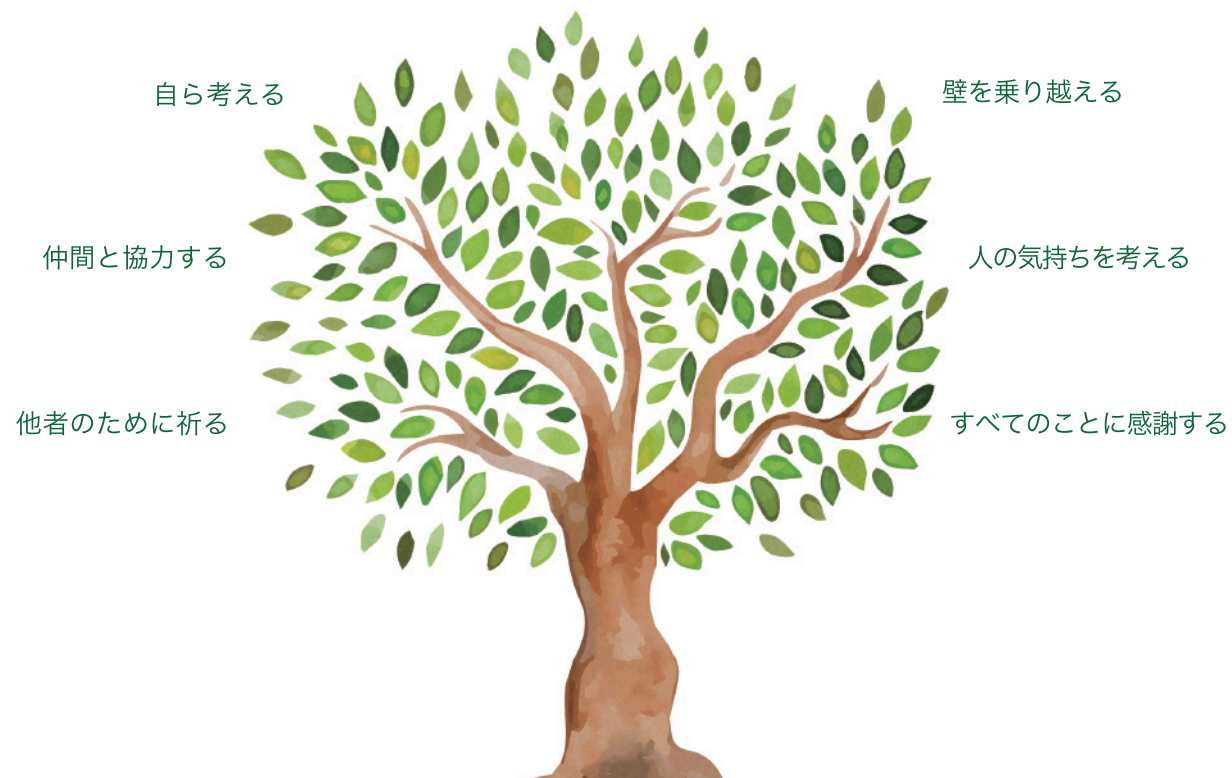




よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る

聖学院小学校はキリスト教を基とし、
「よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る」を教育目標として掲げています。
毎朝の礼拝で、一人ひとりがかけがえのない賜物を備えた
大切な存在として愛されていることを知ります。

“人を愛する心”を育てる



沿 革

- 1903 年 聖学院神学校設立
- 1905 年 女子聖学院設立
- 1906 年 聖学院中学校設立
- 1912 年 中里幼稚園（現 聖学院幼稚園）女子聖学院宣教師館で開園
- 1960 年 女子聖学院小学部（現 聖学院小学校）女子聖学院家政館で開校
- 1961 年 旧校舎に移転
- 1967 年 聖学院幼稚園園舎 小学校敷地内に移転
- 1979 年 体育館、屋上プール竣工
- 1990 年 創立 30 周年記念として「聖学院小学校の歌」制定
- 2004 年 旧校舎耐震化工事（世界初のバラレル工法）
- 2010 年 創立 50 周年
- 2013 年 仮校舎に移転（5 月）
- 2014 年 新校舎完成（12 月）
- 2020 年 創立 60 周年



1年生になったら



学校に慣れるまで

～1年生に寄り添ったスケジュールやイベントづくりをここがけています～

無理のないスケジュール

1年生の4月は無理なく学校生活に馴染めるようゆったりとしたスケジュールが組まれます。朝の準備に慣れるまでは、6年生と一緒に手伝ってくれます。入学式後、1週目の授業は毎日2時間程度。2週目からは徐々に増やしていきます。5月のGW明けからは、全学年の縦割りグループでのスクールランチに加わります。

1年生歓迎会・学校たんけん

学校生活に少し慣れてきた4月の終わりに「1年生歓迎会」を実施します。児童会進行のゲーム大会に全校児童が参加し楽しい時間を過ごします。また、生活科の授業の中で行われる「学校たんけん」では2年生と一緒に学校の中を探検します。初めて見る場所もたくさん！この日を境に新しい遊び場が加わり、秘密の場所も見つかることでしょう。

1年生なかよしキャンプ

5月の終わりに1年生みんなと一緒に学校に泊まる行事です。1年生にとっては小学校に入って初めての泊り。おうちの方と離れて、ドキドキワクワク…でもちょっと心細い？たくさんの友だちといろんなことを経験し、このキャンプが終わるとみんなすっかり仲良しです。この行事は災害時に学校で生活する場合の訓練の意味も含まれています。

1年生の時間割

時間割		月	火	水	木	金
予鈴	8:10	予鈴				
本鈴	8:20	8:20までに登校します				
10分間読書	8:20-8:30	10分間読書				
礼拝	8:35-8:55	全校礼拝	クラス礼拝	校庭礼拝	低学年礼拝	全校礼拝
朝会	8:55-9:05	朝会				
1時間目	9:05-9:50	音楽	英語	体育	国語	国語
2時間目	9:55-10:40	算数	体育	算数	表現	音楽
20分休み	10:40-11:00	20分休み				
3時間目	11:00-11:45	生活	国語	国語	体育	図工
4時間目	11:50-12:35	生活	国語	生活	英語	図工
お昼休み	12:35-13:25	お弁当	スクールランチ	お弁当	スクールランチ	お弁当
5時間目	13:25-14:10	国語	算数	図書	算数	書写
6時間目	14:15-15:00	聖書	学級会	放課後タイム	放課後タイム	放課後タイム
最終下校	16:00	16:00までに学校を出ます				

聖学院アフタースクール

【申し込み制・有料】

放課後、安全に楽しく過ごせる「聖学院アフタースクール」を実施しています。登校日は18:30まで学内で過ごすことができ、夏休みなどの長期休暇中も利用できます。曜日を指定しての定期的な申し込みのほか、ご家庭の都合に合わせて特定の日程のみ参加することもできます。詳細はHPをご覧ください。



自ら学び、表現できる力を

子どもたちの「なぜ？」という好奇心。「知りたい」という気持ち。「わかった！」という喜び。それが学習の原点です。自らが課題を見つけ、どうやって解決するかを、子どもたち同士で教え合いながら学んでいきます。教室とひと続きになったオープンスペースは、資料を広げたり、グループ学習を進めたりできるワークショップ型の学びに適したエリアです。子どもたちは日々、たくさんの出会いと交わりの中で成長していきます。だからこそ学校は何よりも子どもたちの存在を大切にする場所でありたいと思っています。



理科室



図工室



家庭科室



図書室



音楽室



1・2年生 楽しい学び



1年生は学校に通うこと、そして学校生活に慣れることが最も大切です。「知らないことを学ぶのは楽しいね」という気持ちが学習のスタートライン。異なる個性を持った子どもたちが、自分とは違った友だちの考えを知り、学びが広がっていきます。みずみずしい感性に満ちた低学年の子どもたちが、学びの楽しさを味わいながら新しい経験を重ねていけるよう、適切なケアやサポートに配慮しています。

広がる学び 3・4年生

3年生から理科、社会、総合の新たな教科が加わります。専科の先生が指導する理科は、理科室での実験・観察を中心とした授業で、子どもたちの興味関心を引き出します。社会や総合では調べ学習や校外学習で学びの視野を広げていきます。友だちと力を合わせて一つのことに取り組みながら学びを共有する協同学習では、それぞれが果たす役割を考えられるようになり、さらに学びへの関心を高めていきます。



5・6年生 共有する学び



5年生から家庭科、ハンドベル、委員会活動が加わります。自分の意見を持ち、他者の意見に耳を傾け、相互理解を深める高学年。ワークショップ型授業の中でプレゼンテーションやディスカッションを取り入れ、表現力を磨き合います。6年生では小学校生活の集大成として、「学習発表会」で修学旅行についてプレゼンテーションをします。ともに学び合う中から必要な知識とスキルを修得し、真の生きる力につなげていきます。

特色ある学び

① 英語教育

1年生から6年生まで週2時間を充てています。目標は、まずリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4スキルが揃った力を育てること。英語でのコミュニケーションを楽しめるようにすること。異文化を理解し、自分の文化を英語で発信できる素地を養うことです。子どもたちは日本の生活習慣や文化、伝統的な遊びや歌を英語で楽しみながら学び、海外からのゲストに対してその知識を英語で発信します。また、他教科の内容を英語で学ぶCLILを取り入れているのも特色です。例えば3年生では、理科の授業とコラボレーションして「チョウの一生」を英語で学習するなど、英語を身近なものとして捉えています。



② 『作家の時間』

通常の国語の授業の他に、1年生から6年生まで週1時間「表現」の科目を特設しています。この授業は「作家の時間」と呼ばれ、自由なテーマで文章を書き、それをクラスメイトの前で読み上げ、みんなから評価をもらうという形式です。教師とのやり取りだけで終わる作文とは異なり、多数の読み手を意識し、興味を持ってもらえるように書くのがポイントです。自分の考えを練り上げて、さらにはそれを発信できるようにするため、「作家の時間」以外にも発表やスピーチの機会を多く設け、発信力を鍛えます。



③ iPad（タブレット端末）を使った ICT 教育の取り組み

3年生以上は個人でiPadを所有し（1・2年生は貸出）、各教科の様々な場面で有効に活用しています。例えば国語では「ごんぎつねの映画予告編を作ろう!」というテーマのもと、iPadでイラストを描いたり音楽を取り込みながらごんぎつねの魅力をいかに伝えられるかを考え、作品を仕上げます。個人やグループの進捗状況は教師のiPadで把握しています。自由な使い方を認めつつも、教師が児童全員の作業を見守ることが大切だと考えているからです。既存の学習ツール(教科書・ノートなど)と同様iPadも選択肢のひとつです。子どもたちの学習活動を念頭にそれぞれの特性を生かして毎日の授業づくりをしています。



「取り除く」のではなく「乗り越える力」を

子どもたちが様々な体験を通して学ぶ場は、校内はもとより、多彩な課外活動によって、国内各地や海外へと広がっていきます。1年生から実施している宿泊行事では、異なる環境の中で初めての経験に戸惑い、様々な感情や未知の課題に直面することになります。私たち教師はそれらを、大人が「取り除く」のではなく、仲間と助け合い励まし合う中で「乗り越える力」を身につけてほしいと願っています。困難に立ち向かいそれを乗り越える勇気と仲間との絆は、これからの社会を「生き抜く力」となることでしょう。

聖学院小学校では、宿泊行事の一つひとつにテーマを持たせ体系化することで、6年間を通じてバランスの取れた体験型学習プログラムを編成しています。

行事のねらい

仲間と協力する

《1年生》
なかよしキャンプ(5月)
《2年生》
自然学校(10月)

自然を体験する

《3年生》
清里自然学校(6月)
《4年生》
冬の学校(1月)

異文化に触れる 英語で交流を深める

《5年生》
イングリッシュキャンプ(5月)

《任意参加》
オーストラリアホームステイ(7月)
ニュージーランド親子ショートステイ(7月)

歴史を学ぶ 平和について考える

《6年生》
長崎修学旅行(2月)



4月 入学式



7月 夏休み特別プログラム



9月 夏休み作品展



10月 2年生自然学校



12月 クリスマス礼拝(ページェント)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
入学式 前期始業式 健康診断 1年生オリエンテーション イースター礼拝 1年生歓迎会	運動会 母の日礼拝 ペンテコステ礼拝 1年生なかよしキャンプ 5年生イングリッシュキャンプ プール授業開始(～10月)	参観日 花の日礼拝 鑑賞教室 3年生清里自然学校	夏休み特別プログラム※ オーストラリアホームステイ※ ニュージーランド親子ショートステイ※	夏休み	引き取り訓練 夏休み作品展 Japan Trip(留学生受け入れ) 聖学院フェア 前期終業式



5月 運動会

10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期始業式 2年生自然学校 校内作品展 秋の特別演奏会	創立記念礼拝 収穫感謝礼拝(カレーパーティー) 音楽会 私学体育発表会 ツリー点火式	クリスマス礼拝(ページェント)	4年生冬の学校	6年生修学旅行	学習発表会 ハンドベル発表会 6年生送別会 卒業式 後期終業式

※希望者対象プログラム



5～10月 プール授業



1月 4年生冬の学校



3月 卒業式



11月 ツリー点火式



11月 音楽会

Topics 1

9月 聖学院フェア

子どもたちが心待ちにしている行事の一つです。バザー、ゲーム、模擬店など保護者の方々が中心になってご用意くださったプログラムで学校中が盛り上がり、楽しい時間を過ごします。一般の方も参加可能です(チケット制)。ぜひご家族みなさまでおこしくください。



Topics 2

海外との交流

5・6年生の希望者はオーストラリアホームステイプログラムに参加することができます。約10日間の期間中は現地児童のご家庭に宿泊して授業や行事に参加します。本校へのジャバントリップもあり、双方向の交流が行われています。また、1年生から親子で参加できるニュージーランドショートステイプログラムも行っています。



安心して過ごせる環境があります

セキュリティも万全です

校門には警備員が常駐し、登下校時の声掛けで児童の安全を見守ります。外部からの出入りはPTA名札の確認を徹底するなど体制の強化を図ります。また校門やエントランスには防犯カメラが取り付けられ、事務室や職員室で確認ができるようになっています。防犯ブザーを全員に配布し、登下校時の安全確保に努めます。



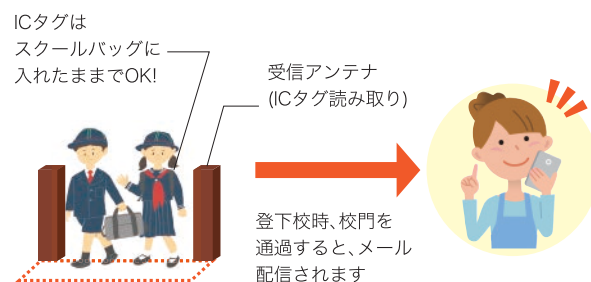
警備員の常駐



防犯ブザー

登下校メール配信システムの導入

登下校時に校門を通過すると、スクールバッグ内のICタグをセンサーが感知し、保護者にメールが送られる仕組みです。学校からの緊急メールも同システムを利用しています。



保護者専用ページの設置

緊急メールが送受信できない状況に備え、小学校HP内に保護者専用ページを設置しています。ページの閲覧にはパスワードが必要です。

その時は突然やってきます

在校時に大規模な災害が発生した場合、安全が確保されるまでは学内に待機し、保護者の方がお迎えに来られるまでは学校でお預かりします。全児童が数日間過ごすことのできる備蓄のほか、各自必要な食べ物や下着などをセットした非常用バッグを保管しています。また、避難場所の一覧や緊急掲示板の利用方法などを掲載した「引き取り支援マップ」を配布し、毎年9月には保護者の方による引き取り訓練を実施しています。



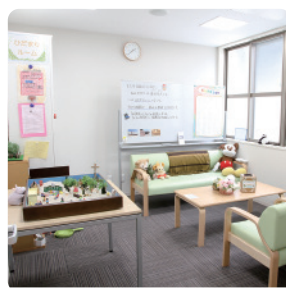
防災トイレ



非常用発電機

ココロとカラダの健康を守る

ひだまりルームには不安や悩みを抱える児童の心の相談窓口として、スクールカウンセラーが常駐しています。校内にはAEDを設置し、救命救急講習などと合わせ、日ごろから教職員が使えるよう訓練しています。子どもたちがのびのびと学校生活を送ることができるよう、体と心の両面から支えます。



ひだまりルーム



保健室

制服紹介

冬服 (11月～5月)



夏服 (6月～10月)



盛夏服 (6月～9月・任意)



※5月・10月は移行期のため夏服・冬服どちらでも可

冬用帽子



男子

女子

夏(盛夏)用帽子



男子

女子

スクールバッグ



聖小バッグ



特別活動

クラブ活動

4年生以上は全員が任意のクラブに参加し、年間15回程度の活動があります。運動系クラブは他校との交流も活発で、私立小学校の体育発表会への参加、他校との交流試合などを行っています。

委員会活動

5・6年生が中心となり、全校児童の学校生活をより楽しくするために様々な活動をしています。「1年生歓迎会」「聖学院フェア」「全校集会」「クラブ紹介集会」などは企画運営に携わり、主体的に協力して活動することを学んでいます。

PTA 活動

保護者と学校の関わりについて

「無理なく楽しく」をモットーに保護者と教師が力を合わせPTA活動に取り組みます。宗教部・総務部・事業部の各部ともクラスから2名の委員が選出され活動をしします。また聖歌隊やハンドベル同好会など、ミッションスクールならではの活動も盛んです。

VOICE 卒業生保護者からのメッセージ

長男と次男が、幼稚園から小学校まで聖学院のお世話になりました。2人とも個性を大切にいただきながら、のびのびと過ごすことができました。低学年の頃から「5年生になったら運動会の応援団になりたい」などの目標を持ち、学校行事に自発的に取り組んでいました。私もPTAの事業部長として聖学院フェアを3年間担当し、楽しく活動が続けることができました。長男が卒業してから、ボツリと「聖小の先生方はみんな、あったかったね」と。子どもたちの母校は、私にとっても大切な場所です。



卒業生保護者
中川美佐子さん



安全と安心のしくみ



子どもたちは未来の担い手であり、数十年先を創っていく存在です。小学校時代の6年間は、一人ひとりが未来に生きる力を育むための重要な時間だと考えています。必要不可欠な知のベースを築くための「学び」、全力で人や世界とまみえる「遊び」、自分も他者も、神様に愛されているかけがえのない賜物を携えた存在であることを知る「祈り」。「よく学ぶ よく遊ぶ よく祈る」を教育目標とする本学が最も大切にしているのは、これらを通して“人を愛する心”を育てることです。

豊かな成長を支えるための快適な環境を整えた校舎には、一人ひとりの心地よい居場所があります。深い愛情に見守られ、安心できる場所でのびのびと多くの経験を重ねることで育まれる温かで強い心。子どもたちは、友だちや先生、学内外のさまざまな人々との多彩な出会いと関わり合いを通して人とつながることの意味深さを見出していきます。生きた人間同士だからこそ学び合える、人を理解し、共感し、尊重し合い、共に生きるための感性が養われていくのです。

一人ひとりが、直面する今を精一杯生き抜く力を持った人に成長し、人生の困難にぶつかった時でも自分らしい歩みを続け、明るい未来を切り開いていけるようになることを願って、聖学院小学校は教育に取り組んでいます。

生き抜く人を、生き抜く力を